

学校教育目標	夢に向かって、学び合い、心豊かに、たくましく生きる 丹生っ子の育成
育成を目指す資質・能力	基礎学力の定着と表現力・実践力の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> 【5年生大分県学習状況調査より R5.4月実施】 国語68.4(71.5) 算数60.9(68.1) 理科56.4(67.7) ※平均正答率(県) 【6年生全国学力・学習状況調査より R5.4月実施】 国語76.0(65.6) 算数64.0(62.0) ※平均正答率(全国) 5年生は全教科が県平均を下回り、6年生は全教科が全国平均を上回る。	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> <small>漢字は読めても書けない、連用修飾語や敬語等の言語についての理解も低い。                      ・指定された長さや構成で文章を概ね書くことはできるが、考えを支える理由や事例との関係を明確にしたり、表や図形から読み取って説明したりできる(5年)児童が少ない。また、要点を捉えて読むことができていない児童が多い。                      ・算数では、5年「いろいろな形(四角形の対角線の性質)」「角の大きさ」「折れ線グラフと表」、6年「割合」「比例」「三角形」、理科では「物質・エネルギー」の理解が不十分である。                      ・小集団では考えを伝えることができるが、クラス全体になると発言する児童に限られる。</small>
	<b>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</b> ・「自分の考えや意見を友達に伝えることができますか」肯定的評価91%。算数科においては自分の考えをもたせるための手立て、互いの考えを伝え合う場の工夫をし、板書・ノート交流会(7月・教科問わず)で共通理解を図るなどのこれまでの研究の成果と考えられる。 ・授業や家庭学習等でテーマ(目的)に沿って記述させる活動を充実させる。 ・学習規律を徹底し、互いの思いや考えを安心して伝え合える学級作り(SST)。	
指導の状況	<b>1 組織的な授業改善の取組状況</b> ・算数科における丹生小のスタイル(めあて・課題・見通し(既習事項の揭示等)・解決(互いの考えを伝え合う場の工夫)・まとめ・振り返り)が概ね定着している。 ・授業の流れや子どもの思考の流れがわかる板書・ノートを意識した授業づくり(学期に1回交流)を継続的に行っている。 ・話し方・聞き方系統表や話し合いの視点(算数科)を活用した授業づくり。 ・校内の授業を見る視点を設定⇒校内研・授業実施(一人一実践)⇒振り返り・改善を繰り返し、授業改善につなげる。	
	<b>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</b> ・全学年を対象として、読解力を育てる取組を実施(音読、週末読書、週1回の読書タイム(9分)) ・「書く」活動を意識化し、毎日の宿題や週末等に学年に応じて日記、視写、作文の取組・指導 ・家庭学習の答え合わせ・やり直しまでを徹底し、高学年は週2回以上自主学習の取組・指導 ・中・高学年はICTを活用した授業、家庭学習の取組を月1回以上 ・5年生算数の少人数授業の実施、算数の基礎基本の定着を図るための取組・指導(全学年)	

学力に関する達成指標

- 単元末テストで80点以上を75%以上、60点未満を5%未満。
- 各種学力調査で全国平均以上。

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	<b>〈授業改善のテーマ・重点〉</b> (授業改善テーマ) 表現力・実践力を身に付けさせる授業づくり  (授業改善の重点) 自分の考えをもたせるための手立て、互いの考えを伝え合う場を工夫した授業の推進	
	<b>〈取組内容〉</b> ・既習事項を活用し、根拠を明らかにして自分の考えをもたせる ・対話の目的を明確にし、授業の中に位置付ける ・話し合いの視点の焦点化、追発問等を仕組みた授業展開	<b>〈家庭・地域の取組内容〉</b> ・家庭学習の手引きを基に、学年初め懇談会・学年通信等で家庭学習の意義や方法を確認し、現状を知らせながら、継続して取り組ませる。
	<b>〈取組指標〉</b> ・毎単元での既習事項の教室揭示 ・全ての教員が算数科を中心に、週1回以上対話的場面を取り入れ、話し合いを焦点化したり、追発問を仕組み子どもの考えを深める授業の実践(授業研2回、ミニ授業公開2学期までに1回以上) ・学期に1回の板書・ノート交流会(全てのクラス)	<b>〈家庭・地域の取組指標〉</b> ・「生活見直し週間」を学期に1回実施 ・学校だより・学年通信を必ず読む
	<b>〈検証指標〉</b> ・「授業で勉強していることがよく分かりますか」肯定的評価90%以上(児童) ・「自分の考えや意見を友だちに伝えることができますか」肯定的回答90%以上(児童) ・「授業で1日1回以上、自分の考えを書かせて、伝え合う場を設定している」肯定的回答100%(教員)	<b>〈家庭・地域の検証指標〉</b> ・保護者アンケート「子どもは、自分から進んで宿題に取り組んでいますか」の肯定的回答70%以上
		<b>【授業改善以外の学力向上の取組】</b> ・週1回の読書タイム(9分)、学期に1回の読書週間にあわせて読書指導 ・家庭学習、自主学習、週末読書について指導 ・テスト付属の教科プリント集の活用